



報道発表

2019年10月31日

株式会社 aceRNA Technologies への追加投資の実行について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社 aceRNA Technologies（アセルナ テクノロジーズ、以下「aceRNA」）（本社：京都市左京区、代表取締役：進照夫）に対する追加投資を実行いたしました。

○aceRNA への投資実行について

aceRNA は、京都大学 iPS 細胞研究所の齊藤博英副所長が開発した人工 RNA 分子によるプラットフォーム技術（以下「RNA スイッチ」）により、再生細胞医薬品の精製や創薬事業を行う企業です。

iPS 細胞や ES 細胞などの多能性幹細胞は、分化工程を経て再生細胞医薬品として用いられます。分化工程で未分化の幹細胞が残存すると癌化の危険性があるため、iPS 細胞や ES 細胞の実用化には、未分化幹細胞の除去技術が必要とされています。RNA スイッチは未分化細胞を選択的に殺傷もしくはラベリングすることが可能なため、再生細胞医薬品の安全性や品質を向上させる重要な技術として、医療への貢献が期待されています。

aceRNA はこれまでに、iPS 化した細胞や分化させた心筋細胞を精製する試薬「RNA Switch™」を発売し (<https://acernatec.com/product/>)、研究開発ではヒトで発現する全種類の miRNA に対応するライブラリーを完成し新たな創薬ターゲットの同定を開始しました。

京都 iCAP は引き続き当社技術が再生細胞医療の安全性向上や創薬ターゲットの同定に貢献することに期待し、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石橋達史）ならびに複数名の個人投資家とともに総額 2 億円の資金調達に参加し、152 百万円の投資を実行しました。

株式会社 aceRNA Technologies 会社概要

設立	2018年4月
事業内容	RNA スイッチ技術による細胞精製製品の開発と創薬
本社所在地	京都市左京区
代表取締役	進 照夫



○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016 年 1 月には京都大学と民間企業からの出資を受け、同社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp